

みずほCustomer Desk Report 2022/10/17号 (As of 2022/10/14)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	147.43
TKY 9:00AM	147.31	0.9767	143.90	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	148.86	0.9808	144.80	1.1300	0.6294
SYD-NY Low	147.09	0.9708	143.48	1.1359	0.6347
NY 5:00 PM	148.79	0.9723	144.54	1.1153	0.6195
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	29,634.83	▲ 403.89	日本2年債	▲0.0500%	0.0000%
NASDAQ	10,321.39	▲ 327.76	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	3,583.07	▲ 86.84	米国2年債	4.4949%	0.0313%
日経平均	27,090.76	853.34	米国5年債	4.2686%	0.0638%
TOPIX	1,898.19	43.58	米国10年債	4.0215%	0.0728%
ソコ日経先物	26,620.00	▲ 165.00	独10年債	2.3580%	0.0625%
ロンドンFT	6,858.79	8.52	英10年債	4.3205%	0.1400%
DAX	12,437.81	82.23	豪10年債	4.0020%	▲0.0110%
ハンセン指数	16,587.69	198.58	USDJPY 1M Vol	13.84%	1.19%
上海総合	3,071.99	55.63	USDJPY 3M Vol	12.78%	0.61%
NY金	1,648.90	▲ 28.10	USDJPY 6M Vol	12.48%	0.48%
WTI	85.61	▲ 3.50	USDJPY 1M 25RR	▲0.66%	Yen Call Over
CRB指数	276.69	▲ 5.79	EURJPY 3M Vol	13.74%	0.19%
ドルインデックス	113.31	0.95	EURJPY 6M Vol	13.73%	0.22%

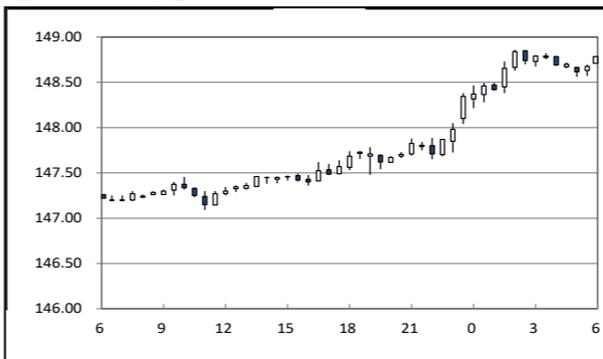
【昨日の指標等】

Date	Time	中	米	Event	結果	予想
10月14日	10:30	中		CPI(前年比)	9月 2.8%	2.9%
10月14日	21:30	米		小売売上高速報(前月比)	9月 0.0%	0.2%
10月14日	21:30	米		小売売上高(除自動車/前月比)	9月 0.1%	-0.1%
10月14日	23:00	米		ミシガン大学消費者マインド・速報	10月 59.8	58.8

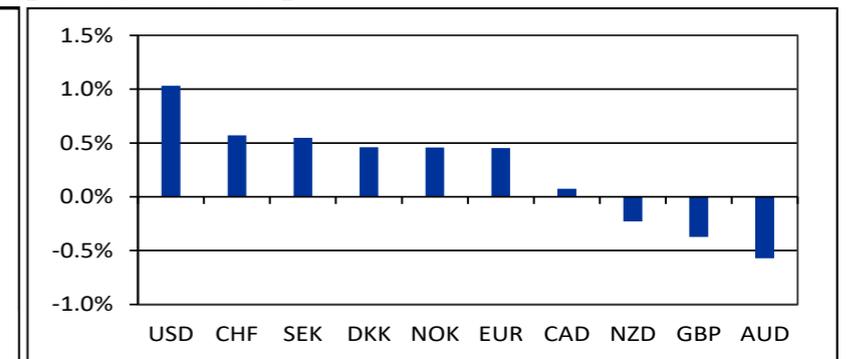
【本日の予定】

Date	Time	日	中	米	Event	予想	前回
10月17日	13:30	日			鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	8月 -	2.7%/5.1%
10月17日		中			貿易収支	9月 \$80.30b	\$79.39b
10月17日		中			輸出(前年比)	9月 4.0%	7.1%
10月17日		中			輸入(前年比)	9月 0.0%	0.3%
10月17日	21:30	米			NY連銀製造業景気指数	10月 -4.3	-1.5

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.80-149.50	0.9680-0.9830	143.50-145.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は大幅に上昇する展開。東京時間は147.31でオープン。黒田総裁や鈴木財務相の円安牽制発言にほとんど反応を示すことなく、米金利につられてじりじりと上昇すると、海外時間には前日の高値となる147.66を突破。米国時間に発表された米10月ミシガン大学消費者マインドや期待インフレ率が予想を上回ると、148円台をあっさり抜け148.86まで上値を更新。その後も高値圏での推移が続き148.79でクローズした。各経済指標からも米国の経済には現状陰りが見られず、当面ドル高基調は継続。週末にあったバイデン大統領のドル高容認発言も、ドル円のサポートとなりそう。ただドル円は先週1週間で3円以上上昇しており、鈴木財務相から「水準よりボラティリティに注目」という発言があったことから、為替介入実施への警戒感是一段と高まるだろう。底堅い値動きを基本線としつつも、節目では神経質になる展開を予想する。

東京	東京時間のドル円は147.31レベルでオープン。日経平均株価の朝寄高にリスクオンのドル買いが強まり、ドル円は一時147.45近辺まで上昇。その後は時間外の米長期金利の低下を横目にドルが売られ、ドル円は147.09まで下落したが、米長期金利が持ち直すと、ドル円もじわじわと上昇し、147.42レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.42レベルでオープン。アジア時間の流れを引き継ぎドル高地合い継続。147.88まで上昇し147.79レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.1325レベルでオープン。昨日の上昇の反動で上値重い展開が続く。じりじりと売られる中、昼前に「クワテング財相が更迭される」との一部報道に1.13台を回復する場面もあったが勢いは続かず。その後1.1168まで下落し結局1.1201レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は147円台前半でスタート。鈴木財務相や黒田日銀総裁の円安けん制発言も見られたが、ドル円の反応は限定的。その後、円買い介入を警戒しながらもドル円の買いが進む中、ロンドン時間には前日高値(147.66)を上抜け、147.88をつける。小幅反落後、147.79レベルでNYオープン。朝方は米9月小売売上高が発表され予想を下回り、ドルが売られる場面もあったが、147.65までの下落に留まった。その後、米金利上昇とともにドル円も買いに転じ、難なく148円を突破。その後、米ミシガン大学が発表した10月分の消費者マインド指数や期待インフレ率が予想を上回ると買いは加速し、一時148.86まで上昇。午後は小幅反落しつつも148円台後半でしっかり。終盤に再び鈴木財務相の円安けん制発言が伝わるも市場では反応は見られず、結局、約32年ぶりの水準となる148.79レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは0.97後半でスタート。ポンドの上昇に連れ高となり0.98を付ける場面もあったが、その後は失速し、0.9709まで反落後、0.9719レベルでNYオープン。朝方は米9月小売売上高発表後にドル売りが強まり、0.9799まで急伸するも、滞空時間は短く、上に往って来い。午後は0.97前半で小動きとなり、0.9723レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・大橋